

「総合計画」こそ、市民の力を活かして!

つくば・市民ネットワークは既存の政党ではなく、生活者の目線で市政にかかわる人を増やす活動をしています。昨年の市議選では現職二名から新人三名に交代しました。多くの市民に共感が得られたからだと思います。

つくばの未来…  
今、分岐点

今年1月末、公務員宿舍2500戸の削減計画が関係者へ通知され、市内に激震が走りました。つくばの魅力である緑豊かでゆとりある街並み、大きく損なわれる恐れがあります。防犯上の心配も出ています。



削減される公務員宿舍。ゆとりある街並みを守りたい。

一方、筑波・茅崎地区では高齢化による公共交通や買い物弱者等の問題があり、福祉関連の財源確保は大きな課題です。約300ある公共施設も老朽化の波が押し寄せています。これらの課題をどのように解決していくかで、つくば市の未来が大きく変わります。

総合計画は  
まちづくりの「要」

まちの転機ともいえるこの時期に、市では、まちづくりの最上位である新しい「総合計画」づくりを始めています。総合計画は、市の財政計画や、保健福祉、道路事業、廃棄物対策、教育とあらゆる事業計画の最も上位に位置し、まちづくりの「要」ともいえる計画です。

昨年9月に市が実施した自治基本条例の市民アンケートでは「もっと市の情報を伝えて!」「市民が参加できる仕組みを作つて!」「地域で課題は大きく違う」「職員も交えて市民間の話し合いが重要」など1000

松本市	約100人の委員による策定市民会議を設置し、5部会に分かれ策定作業をした。
秦野市	市民100名によるボイス・オブ・市民会議を設置し、6部会に分かれ策定作業をした。
長野市	合計60名(審議会委員22名、公募38名)の市民による市民フォーラム21を設置し、6部会に分かれ策定作業をした。
水戸市	市民1万人アンケートや市内大学の学生へまちづくり提案調査を実施。市と青年会議所が「市民討議会実行委員会」を組織し議論・協議を2回実施。
倉敷市	次期総合計画の事前説明会を5地区開催。公募市民58人が7グループに分かれ「市民インタビュー」を実施後、公募市民37名による策定市民委員会を設置し5部会で協議検討した。

件以上の意見が寄せられました。

地域や市政への関心も高く、市民が主体的に課題解決に向かう土台は既にあります。

大勢の市民参加で  
活きた計画を!

これらの声を受け、今議会「大勢の市民の参加と職員総参加で計画づくりを!」と提案しました。松本市や秦野市では、公募市民100人が、テーマ別に原案から議論に参加して総合計画づくりに取り組んでいます。

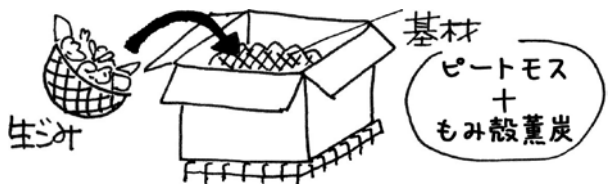
ところが、市長は「市民参加の定義がない中で、現状以上の市民参加は行わない」と答えました。この発言はつくば市の市民参加を大きく後退させると言わざるを得ません。多くの声が反映されてこそ

活きた計画になります。市民ネットは、「住み続けたいつくば」をスローガンに、引き続き原案を作る段階から市民参加を提案し、市民の声を届けていきます。

ダンボールを使って  
「生ごみリサイクル」

ダンボールコンポスト講習会

8月28日(水) 10時~11時半 並木交流センター



実演を交えて、方法やコツをご紹介します。ぜひご参加ください。  
お問い合わせ:029-859-0264(市民ネット)

さて、ここでクイズです。

Qつくば市の燃やせるごみの中で、生ごみの割合はどのくらいでしょう?

- ①約10%
- ②約25%
- ③約40%

(答えは、この紙面のどこかにあります。)



夏休み「議員と話そう!会」日程

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川を交え、様々な情報と意見交換を行います。どなたでも参加できます。ご都合の良い日程に、お気軽にご参加ください。

- 8月20日(火) 14時~16時 吾妻交流センター
- 8月22日(木) 13時半~15時半 茅崎交流センター
- 8月23日(金) 14時~16時 二の宮交流センター



# 交代から7か月、代理人3名 たゆまず全力で活動中!

市民ネットの代理人3名は、市民とともに調査研究や学習を重ね、議員として行政のチェックを行う傍ら、生活者の視点で初心を忘れず政策提案を実施中!

<p><b>体も心も地域も元気に!</b> 「暮らし続けたいつくば」をつくります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な学校給食の確立</li> <li>・省エネ・創エネで原発のない暮らし</li> <li>・市民参加を実現する自治基本条例づくり</li> </ul>	
<p><b>議会での提案内容</b></p>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙公報・変更周知の確実な実施、投票時刻の延長、投票率アップ</li> <li>・北部小中学校統廃合の保護者・地元住民への説明会の早期実施</li> <li>・自治基本条例づくりの推進</li> </ul>
3月	<p><b>会派代表質問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学区を中心にした地域防災体制づくりの充実を要望</li> <li>・筑波研究学園都市50周年事業「ノーベル賞の森」の見直し</li> <li>・総合計画の条例化、職員全員と大勢の市民参加で策定 など</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例アンケートの活用と推進体制づくり</li> <li>・「農業基本計画づくり」を機に全農家への周知体制と状況把握の実施</li> <li>・総合計画づくりに、職員や市民の力が発揮できる仕組みづくり</li> </ul>



つくば市議会議員  
総務常任委員会副委員長  
**北口ひとみ**

「反問」は、市長・行政から議員へ質問を行うもので、昨年からは始まったばかり。前任の永井議員

「議員になって忙しくなってきた?」とよく声をかけていただきます。正直、活動自体は前任議員の瀬戸・永井と一緒に動いていたせいも急激な変化は感じていません。ただ、「議員としての発言や行動には大きな責任が伴う」と実感しています。

傍聴席からは落ち着いて聞けた行政とのやりとりも、議員になつてみると思うに任せず、未だに壇上では心臓バクバク、汗はタラタラ。そんな中、今議会では初めて行政から「市民参加について」反問を受けました。

市民の声に心を傾け、市民と共に日々活動していきます。



つくば市議会議員  
文教福祉常任委員  
**宇野 信子**



議員という表舞台に回って7ヶ月。議会のネット中継では、席が議員の質問席の斜め後ろなので、私だけいつも映ってしまい、緊張しています。(議会のインターネット中継をぜひ見てください。)

さて、6月議会では、使いやすい福祉制度・特別支援教育の拡充について、一般質問で取り上げました。

また、議会活性化推進特別委員会では、市民と議会の距離を縮めるにはどうしたらよいか、流山市の議会報告会を視察しました。つくば市での実施に向け検討中です。

皆さんの「こんなつくばにしたい!」の思いを集め、一緒に実現するため、全力で活動していきます。

<p><b>誰もが安心して暮らせるまちを目指します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい福祉制度や地域のバリアフリー、公共交通の充実</li> <li>・保育環境の充実、少人数学級、学校図書館へ司書配置、特別支援教育の拡充</li> <li>・交流センターを多世代交流、情報発信、防災拠点、地域課題を話し合う場に</li> </ul>	
<p><b>議会での提案内容</b></p>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のまちつくば行動計画を進め、市民参加で条例づくりを提案</li> <li>・通学路の安全点検・改善状況をHPで公開し、市民と共有を→実現</li> <li>・予算編成を各種計画と整合させ、予算編成過程の見える化を提案</li> <li>・各種補助金の評価は、まちづくり方針から見た効果と課題の検証を</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手代木中学校耐震工事をやり直しの原因追及と再発防止の徹底を提案</li> <li>・農地埋め立て工事における不法投棄防止のため条例・規則の遵守を</li> <li>・指定管理者選定過程の公開、委員構成、選定方法の見直しを提案</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害のある子ども達への早期支援の充実(幼稚園介助員増員等)</li> <li>・J-PARC事故を受け、研究機関の放射線発生装置の把握を提案</li> <li>・遺伝子組み換え作物展示栽培で情報提供が偏らないよう要請を提案</li> </ul>

<p><b>全ての命を尊重できるまちをつくります</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の拡充。使いやすい公共交通、地域のつながりを作る</li> <li>・児童館など子育て環境の充実、学校図書館司書の専従化、放射能を除去し安心な子育てのまちに</li> <li>・持続可能な社会へ、食・農・エネルギーを自給できる社会に</li> </ul>	
<p><b>議会での提案内容</b></p>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、公園、通学路、民有地の放射能除染、汚染土壌保管方法について要望</li> <li>・ゲルマニウム半導体測定器の導入に合わせ、学校給食の一食丸ごと測定だけでなく、食材毎の測定を要望</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンショッピングセンター開店に伴う通学路の安全確保について</li> <li>・地域包括支援センターの機能や広報強化について要望</li> <li>・男女共同参画推進本部に女性委員の参画を要望</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年目に入った地区別懇談会。市民同士が話し合い、地区ごとの課題を解決していく場として運営方法を見直ししていくよう提案</li> <li>・学校給食で農産物を生きた教材として活用する食育を要望</li> <li>・不法投棄防止対策について提案</li> </ul>



つくば市議会議員  
環境経済常任委員  
**皆川ゆきえ**

だハードルは多いと感じています。議員になる前から、お母さん達と一緒に、給食の放射能

議会に入つてわかったのは、市議会でも私たちの生活に関わりのある、たくさんの方が決まっているということ。

財政厳しいのに、ノーベルの森に4000万円も使うの? 幼稚園の介助員は簡単には増員できないのに、下水道はほとんど広がる? 土地や建物はすぐ購入できるのに、つくバスは停留所削減? 議場で悶々としています。

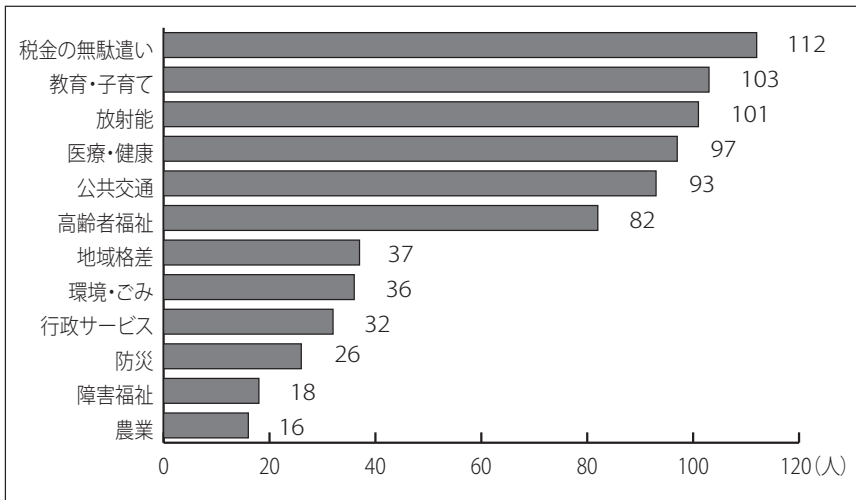
議会では、開かれた議会をめざし、「議会活性化推進特別委員会」で話し合いを始めたいです。議会はどこまで市民に開かれるのか? まだま



測定や、除染、健康調査のことなどを要望してきました。議会へ請願書を出し、請願という権利の行使により行政の対応が変わってきたと感じています。

請願は紹介議員がいれば提出できます。周りのちよつとした疑問など、市民ネットへご相談ください。

# 暮らしのアンケート結果報告 つくば市で優先すべきテーマは何？



昨年7月から10月にかけて暮らしのアンケートを行いました。回答数は178人。「つくば市で優先すべきテーマ」を12項目の中から3個まで選択してもらいました(グラフ参照)。

1位「税金の無駄遣い」、2位「教育・子育て」、3位「放射能」、4位「医療・健康」、5位「公共交通」は、いずれも市民ネットで力を入れて取り組んでいるテーマです。

自由記述の欄で特に多かったのは、公共交通に関するものでした。公共交通こそ市政でなければ取り組めない分野です。要望のうち一部については、「つくば市公共交通活性化協議会」で検討の結果、6月から改善されています。

今後も、政策提案などを通じて市民ネットとしての考えを行政に提案していきます。

## みんなの目で不法投棄を防ごう

つくば市に不法投棄された廃棄物の量は、茨城県内ワースト1位。しかも平成22年度は17万645トンで、他の市町村は数千から5万トン台であるのと比べ、桁が1ケタ違う膨大な量です。

不法投棄は景観上の問題だけでなく、土壌や水源汚染による健康被害も懸念されます。なんとか不法投棄は無くさなければなりません。

先日もある造成中の場所について、市民ネットに連絡が入りました。その造成地については、市役所にも近隣の自治会から連絡が入っており、目で見てわかる廃棄物は確認できませんでしたが、市では現地の確認と道路使用の指導という形で監視を行っていました。



市条例では、500㎡未満の造成等は届出の必要がないため、その造成地も未届で、市民からの通報により、市が把握することができました。

現在、市は条例改正も検討していますが、市民・議会・市役所、みんなの目が不法投棄を抑制する鍵です。

身近に不審な場所があったら、市役所や市民ネットに連絡を!

## 障害のある子どもたちへ就学前支援の充実を!

「地域の公立幼稚園に行かせたいが、一日中の付き添いを求められてあきらめた。」という相談が続いて寄せられました。発達障害のあるお子さんを持つ保護者の方々からです。付添いの目的を議会でも質問したところ、「幼児が安全に安心して幼稚園での生活がスタートでき、幼児の特性について保護者と幼稚園とで共通理解を図り、早く集団生活に適応できるようにするため」との教育長の回答でした。

しかし、保護者にはそのように伝わっていないようです。現在、市内の公立幼稚園には障害児介助員が配置されていますが、幼稚園の要望に全て応えられていないわけではありませぬ。障害のある園児135名(うち、重度45名)に対し、介助員は35名であり、介助員の不足が付き添い要請につながっているのではないかと考えられます。一緒に小学校に上がる地域のお友達と早く慣れるため、障害があるからこそ地域の公立幼稚園に通わせたいと思うのは当然の願いではないでしょうか。障害があっても、地域で暮らし続けられるよう、改善を求めたいです。



## 2013年6月議会 議決結果

- \* 1) 国からの職員給与削減の提案は、「地方公務員の給与は住民や議会の意思に基づき各自治体が決定するもの」であり、「国が減額を押しつけるのは地方の自主権を政府が侵すもので、地方自治の根幹にかかわる」として反対しました。
- \* 2) 学校備品や教材・消耗品など基本的な教育予算が不足しており、電子黒板の機能を持つ最新大型液晶モニター購入費3000万円は、現場のニーズと合っていないため反対しました。

なお、2月提出の「筑波研究学園都市における合同宿舎削減に関する請願」は、引き続き調査研究するとして継続審査になりました。

議決の結果 (可決・採択: ○、否決・不採択: ×)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党	つくば政清会	公明党	日本共産党	山中八策の会	筑峰クラブ	民主党	つくば維新の会	新社会党
つくば市一般職の職員の給与をH25年7月～H26年3月まで削減する条例(*1)	○	×	○	×	○ x:ヘイズ	○	×	×	○	○	×	
市内小学校に大型液晶モニターを購入する契約(*2)	○	×	○	○ x:久保谷	○	○	×	○	○	○	○	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長:金子)		*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢、 高野、飯岡、 松岡	*五頭 久保谷 神谷 小久保	*塚本 大久保 ヘイズ 木村し	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*塩田	*鈴木	*木村き	*黒田	*金子 (議長)

(3) 1面のクイズの答え:③ つくば市2009年データでは38%。生ごみをごみに出さなければ、大幅にごみを減らせます。また、ごみを出す時に水分を絞ったり、食材を使い切る調理を心がけたりと、ひと手間かけると減量できます。



